



発行責任者  
(一社) 京都府保育協会  
京都府保育士会  
会長 笠置 英恵  
(今里こども園)

暑い夏が終わり、文化芸術、スポーツそして食欲の季節、運動会や遠足等の楽しい行事が目白押しで、お忙しい日々をお過ごしのことと思います。

未来を担う子どもたちの笑顔と健やかな育ちを守る為、先生方も季節の変わり目、お身体ご自愛ください。8月7日に行われたキャリアアップ研修の報告と8月5、6日に行われた全国保育士会食育研修会に出席された京都府保育士会食育委員 伊勢田こども園 南美樹先生からの報告です。

### ◇京都府保育士会キャリアアップ研修



#### 午前の部：幼児期までに育てたい10の姿 ～音楽遊びを通して～

##### 参加者からの感想

- ・音一つあれば楽しくなる（本当にそう思った）
- ・いろいろな子どもたちがいる中で音楽と共に脳や身体を育てるきっかけを学んだ。園に伝えたい。
- ・音楽を通して取り組む保育→幅を感じた。
- ・ルールのある遊びも少し工夫するだけで面白みが変わることが知れてよかった。
- ・言葉だけでなく音楽を通して表現力を培うことが大切
- ・10の姿を頭に入れて音楽を使って楽しみながら活動に取り入れたい。



#### 午後の部：

#### かいたり作ったり伝えたりが自由にできる環境構成 ～ごっこ遊びを通して～

##### 参加者からの感想

- ・自然物を用意すると子どもの発想が広がると思った。
- ・十分な材料があると活動の幅が広がることを実感した。
- ・創造することの楽しさを感じさせてあげたいと思った。
- ・様々な素材を用意して子どもたちの発想で物を作ることから始めたい。
- ・普段から自由に素材遊びをできる環境をつくりたい。
- ・作りたいときに自由に作品が作れることはいい環境だと感じた。



◆その他の意見として・・・見守ることの大切さを忘れず保育していこうと思えた。最後まで楽しかった。とても面白かった。とても楽しかった・・・などなど

☑先生たちが楽しくないと子どもたちも楽しくない。そして楽しくなければ何も学べない。

これからもこんな体験型の研修をしていきたいと思います！

## ◇食育推進研修会報告



### 「子育て支援の視点から見る食育」

乳幼児の食育でめざすもの（子どもの心とからだの健全な育ちのために）

- ①成長発達を保障することー離乳食完了期の頃の「食」や萌出時期と咀嚼機能などの理解を得て  
食べる機能の発達の支援が必要
- ②食を営む基礎を培うことー(1)おなかがすくリズムが持てる子ども  
(2)食べたいもの、好きなものが増える子ども  
(3)一緒に食べたい人が増える子ども  
(4)食事準備に関わる子ども  
(5)食べるものを話題にする子ども  
食育の5項目を培うことを目標にする
- ③人間(親子)関係を含めた生活の質ー避けたい7つの「こ食」の理解、影響を知り、保護者の食の支援を行う。

上記の3点がとても大切

### 「食物アレルギーに対する理解と個別対応」

反応の仕組みの学び、理解を得た上で園としての生活管理指導表や個別緊急対応票など基本的なアレルギー対応が必須である。

保護者、医師、保健所、職員の共通理解をもって常に対応の見直しを行う。

### 「保育所、認定こども園の特性を活かしてすすめる食育」

食育とは日々の給食、おやつであり、職員が関わり合う中でかける言葉、情報提供また共通認識のもと、それぞれの専門性を活かして取り組む。

「おいしい」と思うことが身体と心の健康につながる。

「食育」を通して教育機関、保健所、保健センター、栄養士、地域など様々な機関と連携することが大切で「保育の内容の一環としての食育」として色々な立場での意見交流を行った。

(感想)「保育所の給食で美味しいものはなに？」との問いに子どもが「お味噌汁。だってお出しがおいしいんだもの」というエピソードを聞かせてもらい、温かい気持ちになりました。

子どもが「おいしい」と思えることが一番大切であり、うれしいことであり、園がそのような場としてあり続けたいと思いました。

(報告：伊勢田こども園 南 美樹)



## ◇第53回全国保育士会研究大会

令和元年10月24日～25日 島根県・松江市で行われます。

京都府保育協会研究チームが「保育の内容を深める「子どもの発達と環境（3歳未満児）」の分科会で「3歳未満児にふさわしい保育の環境～指さしを通した応答性からの考察～」の研究発表をします。

## ◇近畿ブロック保育士会リーダーセミナー

令和元年11月30日（土）10：00～15：00

ホテル北野プラザ六甲荘（JR 阪急三宮下車徒歩12分）

参加費 昼食代として1,000円（お茶付き）

内容 午前 全国保育士会部会報告・基調報告・基調講演

午後 キャリアアップ研修 寺見 陽子先生（松蔭女子学院大学教授）

「保育の質を考える～人的環境としての保育士のあり方」

※後日参加申込書をファックスで各園に送付しますのでたくさんご参加ください



## ◇全国保育士会研修会

令和2年1月27日（月）～28日（火）

場所：新横浜プリンスホテル

参加費：12,000円（全国保育士会会員及び全国保育協議会会員の職員）

主任保育士（主幹保育教諭）・リーダー的保育士（保育教諭）向けの研修です。今、保育園・認定こども園の現場で一番求められているトピックスを全国の仲間と共に学べる場です。

全体会のテーマは「保育士・保育教諭の養成と働き続けられる職場づくり～より質の高い保育を実現するために～」

分科会では「職員が主体的に研修に参加・参画するためのファシリテーターとしての役割～より効果的な園内研修の企画と手法～」 「保育所・認定こども園における業務の円滑な遂行のための評価と取り組み～マネジメント的視点をふまえて～」 「小学校との円滑な接続について考える」 「児童虐待予防のために保育所・認定こども園のかかわり」 に分かれて学びます。

全国の保育士・保育教諭と交流を図りながら学べる機会です。

ぜひご参加ください。

